

調査研究視察報告書

会派名 自民清風会
代表者名 小野政明 ⑩
視察者氏名 鈴木雅登 ⑩

1 視察日

平成18年10月12日（木）

2 視察先

摂津市

3 視察項目

公園の伐採枝再利用について

4 視察項目の概要

全国的に共通しているのはゴミ処理問題である。具体的には処理コストとか焼却灰の捨て場などであるが、摂津市では伐採樹木を従来では焼却処分していた。しかし、上記の問題上焼却するゴミを減らすという方針の下、樹木のチップ化に取り組んでいる最中であった。岡崎市においてもチップ化には取り組んでいるのだが、問題はチップのもらい手の確保である。摂津市においても同様にもらい手確保という問題があった。

摂津市においてもそれが十分でなく、計画処理年間900トンのところ現在200トン程度という処理実績と伺った。チップの利用方法としては全国的に堆肥方法と除草方法とがあるが、同市としての特徴的な取り組みは除草に関する取り組みであった。

5 所感等

具体的には①公園内の道のクッション材としての利用方法とか

②土手や花壇の除草材として10-30センチほど敷き詰めるなどという内容であった。特に除草としての利用方法は、岡崎市においても様々なところで利用研究を進めるといい事例ではないかと思う。



チップ化の現場



チップ裁断機に投入前の樹木
これを小さくまき割りする